

津久戸

令和3年1月8日

1月号 新宿区立津久戸小学校

前向きに生きる

校長 牧田 健一

新年明けましておめでとうございます。昨年は、3か月にわたる臨時休校や1か月の分散登校等、保護者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。また、急な行事等の変更や毎朝の検温等、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。いまだ新型コロナウイルスの感染拡大が続いておりますが、引き続きのご協力を改めてお願い申し上げます。また、医療に従事している皆様には心より感謝申し上げます。

このような状況の中、さらに感染が拡大しているとはいえ、黙って何もしないということはありません。2学期は、複数の学年で地域を題材とした総合的な学習の時間に取り組んでできました。神楽坂商店会や筑土八幡様、ほか多くの皆様のご協力もあり、充実した内容となりました。今こそ、地域の皆様、保護者の皆様、そして学校が力を合わせて総力を結集して子どもたちの成長に力を注ぐことが大切であり、学校が何をすべきかを考え、その存在は何かということを実感した2学期でした。また、児童も地域の一員であることを強く感じた学期でありました。

児童にとってより良いものになるように、その状況に応じて、感染予防策をとり、まとめの3学期を前向きに進んでいきたいと考えています。特に6年生にとっては小学校生活最後の学期です。中学校進学に向けて、心に残る学びや、経験、知識・技能だけではない学力の定着に向けて総力戦で全教職員が取り組みます。当然1年生から5年生も4月を迎えたときに、新たな学年に希望がもてるような3学期にすることを目指します。

また、令和3年度（4月以降）の教育課程、教育計画についても、「今まで通り」というわけにはいきません。新たな挑戦の年にもなると感じています。これまで同様に保護者の皆様、地域の皆様に力をお借りしながら（これは今まで通りでお願いします。）、より良い津久戸小学校、より良い津久戸の街、素晴らしい津久戸の子どもたちを目指して今年も全力で取り組みたいと思います。

1年生といっしょ集会

特別活動部(1年1組担任)

入学式を終えてすぐ休校になり、学校に来るワクワクやドキドキを十分に味わえないまま夏になってしまった1年生。その後も、異学年との交流を控えなければならない日が続きました。2学期は、2年生が学校案内の動画を作って教えてくれました。6年生からは手紙と手作りの封筒をいただき交流する機会ができ、関わってもらえることを1年生はすごく喜んでいました。

緊急事態宣言の解除を受けて、児童委員を中心に「1年生を迎える会をしてあげたい」という意見が出ました。皆で集会を行えない状況の中でも、子どもたちの温かい気持ちに応えたいと教職員も知恵を出し合い、中継等を取り入れた形態で行うことができました。

2年生は入学式アトラクションの一部と学校クイズを、3年生は学校図書館や百人一首といった本校の特色をテーマにしたクイズと遊びを紹介してくれました。4年生は神楽坂や内藤とうがらしに関するクイズ、5年生からは劇で小学校の学習を通してできるようになることなどを紹介していただき、6年生は「パプリカ」の合奏と楽しいゲームをしてくれました。皆の優しい思いが伝わる温かい雰囲気にも包まれた時間になりました。実施が12月になってしまいましたが、実現できたことを嬉しく思います。

席書会

特別活動部(4年2組担任)

新たな年を迎え、子どもたちも気持ちを一新させての3学期が始まりました。学校では、1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で席書会をします。



硬筆は、柔らかく伸びのあるかきかた鉛筆を使って、手本をよく見ながら書きます。字の形に気を付けることも重要ですが、字数も多く集中力も必要です。毛筆は、だるま筆を使い、太く力強く書きます。練習は11月から、毎年ご指導いただいている宇井芳子先生を招いて行っています。良い姿勢を心がけ、集中して一画一画丁寧に字を書く姿は真剣そのもので、「自分にとって、今までで一番の字を書きたい」という意欲を感じます。席書会では、冬休みに練習した分も含め、これまでの練習の成果を発揮してほしいです。今年も書き初め展を計画しています。子どもたちが心を込めて書いた作品をご覧ください。

【学年の窓から・・・5年生】

1組担任

新しいクラスメイト、新しい担任というだけでなく、休校、分散登校、新しい生活様式等、異例の形で始まった、5年生のスタート。さらには、宿泊行事や運動会、学芸会、きょうだい学年での取り組みも中止となり、モチベーションを高めていくのが難しかったのではないかと思います。そんな中でも、子どもたちの活躍を見ることができました。10月に行われた津久戸オリンピックでは、走順を試行錯誤したり、放課後の練習をしたりしながら迎えた本番、どの子どももいちばんの力を発揮しました。全力で走る姿、全力でエールを送る姿から、学年のまとまりを感じました。12月に行われた1年生といっしょ集会では、「5年生になったらできるようになること」を、役割を分担しながら発表しました。一つのアドバイスで、すぐに演技や動きを変えられる姿から、学年全体で動く力の高さを感じました。今後も、様々な活動が制限されることが予想されますが、制限の中でも子どもたち同士が関わる中で共に成長できるよう、指導してまいりたいと思います。

2組担任

分散登校から一斉登校に戻った時のこと。初夏の心地よい気候の日でした。当時は休み時間の外遊びも開始していなかったので「密にならないよう気を付けて、自由に体を動かしておいで」とだけ声をかけて、校庭割り当ての時間にクラス全員を外に出しました。クラス替えをしたばかりで、2か月間分散登校。どんなメンバーでどんな時間を過ごすのか友達関係を見るのにも良い機会だなと思いながら私も最後に教室を出ていました。校庭に出て驚いたのは、クラス全員で鬼ごっこを始めていたことです。「誰から始めたの？」と数人に聞いても、返ってくる言葉はみんな同じで「何となく始まった」。以前から仲の良い学年という印象はありましたが、これには驚かされました。運動が苦手な子、転入生関係なくみんなで遊んでいました。コロナで外遊びを制限されていた結果見られた光景なのかもしれないと思うと同時に、子ども同士の関わり合いの必要性を感じた出来事でした。コロナ禍で様々な学校行事が制限されていますが、今後も子どもたち同士の関わり合いを大切に指導していきたいと思います。

1月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・学習の準備をきちんとしよう。
- ・忘れ物に気をつけよう。
- ・生活のリズムをとりもどそう。
- ・遊びのきまりを守ろう。

冬休みが終わりました。生活リズムを整え、落ち着いて学習に取り組めるようご家庭のご協力をお願いいたします。
(生活指導部)